

「2019年度 龍谷大学カレンダー」挿画原本展

—絵図や写真で辿る龍谷大学380年の歩み—

本年は本学が創立380周年を迎える記念の年となります。このため、新入生を中心に配布している「2019年度 龍谷大学カレンダー」は、本学のこれまでの歩みを、本学が所蔵する諸記録で紐解くとともに、時代背景を彩る絵図や写真を併せて紹介しています。

今回の深草図書館特別展観では、この挿画の原本を展示しています。展観をとおして、当時の本学の息吹きを感じ取って頂き、380年の佳節を共に祝して頂ければと存じます。

「花洛一覽図」 <表紙>

「花洛」とは現在の京都市のことで、およそ200年前の京都市を一望できるように描いた洛中洛外の図である。畳んで持ち歩ける形になっている。地図の右端にある東寺から左に目をやると、東本願寺と西本願寺が描かれている。

1 舖、黄（横山）崑山画、文化5年（1808）刊、

請求記号 491.41-16W-1、36.7×63.7cm

「都名所図会」 <4月>

京都に関する地誌を絵図と文で紹介した書物である。洛中・洛外だけでなく山城国（京都府南部）の神社、仏閣などが記されている。西本願寺は、第2巻に記されている。図には、本堂・阿弥陀堂の他、飛雲閣（図見開き左下）などが見える。

秋里籬島撰 竹原春朝斎画、天明6年（1786）再刊、

請求記号 491.41-36W-4、27.2×18.8cm

「学林條約」 <5月>

龍谷大学の前身である学林の規則について、慶安5年（1652）を初めとして宝暦6年（1758）までの決められた規則を、明治初期頃までにまとめて書き写したものである。制法として日常生活や服装まで規定されていたことが分かる。

2 冊、請求記号 000.1-47-2、24.1×16.8cm

「本願寺大教校慶讃四箇法要之図」 <11月>

明治12年(1879)5月3日から行われた、大教校講堂(現在の本館)と生徒寮(現在の北覺・南覺)の落成の様子を描いた絵である。この時作製された版画は、大宮図書館が所蔵しているものだけでも7種類に及ぶ。

1紙、近藤長十郎編、明治12年(1879)寺井末吉刊、
請求記号 023.2-30-1/6、27.0×40.0cm

「大日本本願寺并大学林真図」 <12月>

龍谷大学の歴史の中で、明治21年(1888)は、大学林例が発表された年であり、これまであった大教校と普通教校が改められ、孝究院と内学院、文学寮の二院一寮制とされ、翌22年1月から施行された。この図は、やや小さい図ではあるが、大学林例が施行されたことを記念して発行された図である。

1紙、水溪智応編、明治22年(1889)婦人教会・水溪智応刊、
請求記号 023.2-176-1、19.0×24.8cm

「卒業記念写真帖(大正9年)」 <2月>

大正9年(1920)の卒業アルバムである。展示されている頁は、龍谷大学の創立記念日である5月21日の降誕会の写真である。この当時は、宗祖降誕祝賀会と称され、相撲などの行事が行われていた。

1冊、請求記号 000.1-56-1、22.5×31.0cm

「卒業記念写真帖(大正13年)」 <2月>

大正13年(1924)の卒業アルバムである。展示されている頁は、当時の大宮キャンパスの全景写真であり、今から100年近く前の姿が克明に残されている。

1冊、請求記号 000.1-56-2、26.5×35.7cm

「卒業記念写真帖(『芝蘭帖』昭和4年)」 <3月>

昭和4年(1929)の卒業アルバムであり、『芝蘭帖』と名付けられている。展示されている頁は、スキー部や卓球部、陸上競技部などのクラブ活動の写真である。中でも、陸上競技部の主催で駅伝競走が催されている写真は、大宮キャンパスをロケ地とした大河ドラマ「いだてん」の1シーンと重なるものがある。

1冊、請求記号 000.1-56-4、26.7×36.4cm